

【AXSM Drive Software】 2021/3/5

AXSM Drive Software Ver. 3.0.0 Win/Mac 版をリリースします。

本ドキュメントでは AXSM Drive Software のインストール方法と使用上の注意事項について説明します。

AXS-CR1 および AXS-AR1、AXS-AR3 本体同梱の取扱説明書（以下“取説”と略記）と合わせてご覧ください。

#### 【V3.0.0 で対応した内容】

- ・ AXS-AR3 対応
- ・ macOS Big Sur 11.1 対応（但し、Intel Mac のみ対応）
- ・ Windows 10 対応

#### 【動作環境】

この AXSM Drive Software Ver. 3.0.0 は下記の環境で動作確認済です。

※ Mac は Intel Mac のみ対応しています。（Apple M1 Mac には非対応）

対応 OS

Windows 8.1 32bit/64bit

Windows 10 64bit

macOS Big Sur 11.1

macOS Catalina 10.15.7

macOS Mojave (64bit) 10.14.6

macOS High Sierra 10.13.6

Memory

4GB 以上

HDD の空き容量

200MB 以上

AXS-CR1 使用時

AXS-CR1 は上記すべての OS に対応しています。

Hi-Speed USB (USB 2.0)

本機との接続には、Hi-Speed USB (USB 2.0) ホストコントローラーが必要です。

SuperSpeed USB (USB 3.0)

本機との接続には、SuperSpeed USB (USB 3.0) ホストコントローラーが必要です。

AXS-AR1 使用時

AXS-AR1 は Mac のみ対応しています。

Thunderbolt 2

本機との Mac との接続には、Thunderbolt 2 コントローラーが必要です。

Thunderbolt 3

本機との Mac との接続には、Thunderbolt 3 - Thunderbolt 2 アダプターが必要です。

AXS-AR3 使用時

AXS-AR3 は Mac に加えて、Windows10 に対応しています。ただし、Windows10 には制限事項がありますので下記の【制限事項】を参照ください。

Thunderbolt 3

本機との Win/Mac との接続には、Thunderbolt 3 コントローラーが必要です。

## ご注意

上記の動作実績は、すべてのコンピューターに適用されるものではありません。

### 【AXSM Drive Software のインストール方法】

AXSMDriveSoftware\_3\_0\_0\_mac.dmg もしくは、AXSMDriveSoftware\_3\_0\_0\_win.exe をダブルクリックして、インストーラーの指示に従ってください。

#### Mac の場合

以前のバージョンのソフトウェアは上書きされるので削除の必要はありません。

インストールする際は、後述する、システムソフトウェアの許可を行なって下さい。

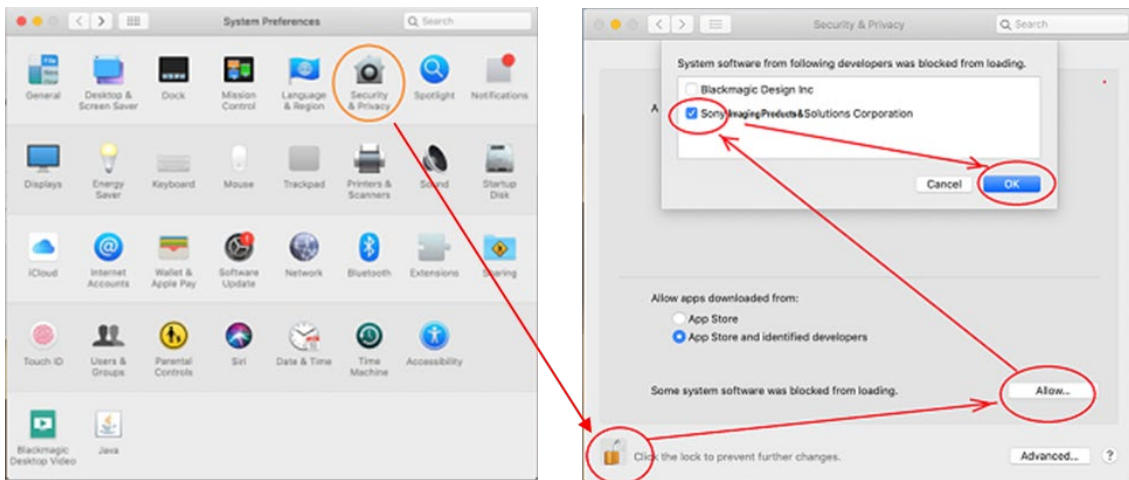
#### Windows の場合

「プログラムと機能」で以前のバージョンを選択し削除してから、インストールしてください。

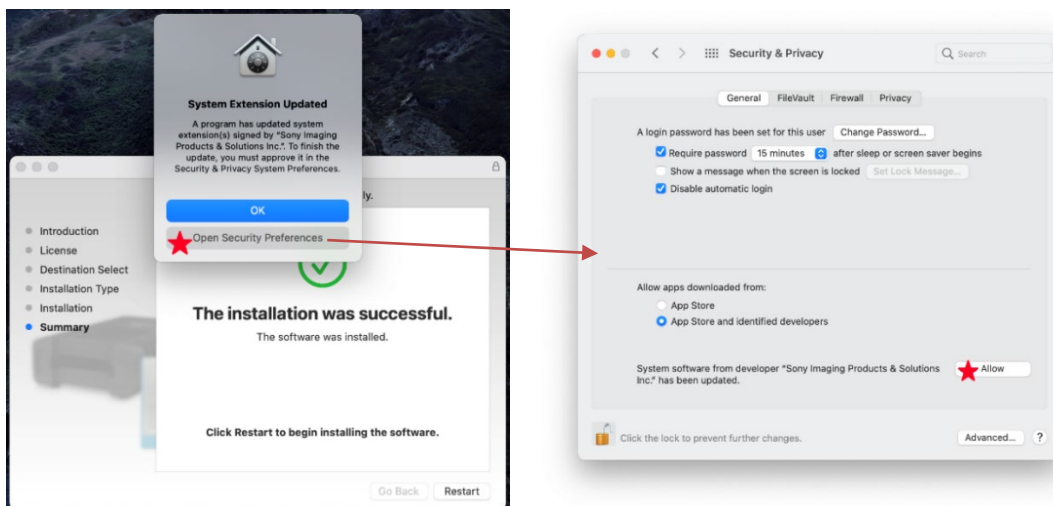
インストール後、OS の再起動が促されますので、OS の再起動をお願いします。

- ・ macOS 10.13 もしくは 10.14、10.15、11.1 にインストールする際は、システムソフトウェアの許可が必要です。下記のように「システム環境設定」の「セキュリティとプライバシー」画面を開き、必ず「システムソフトウェアの読み込み」を”許可”してください。

1. Open “Security & Privacy” from “System Preference”
2. Press the “Allow” button on right side of “System software was blocked from loading...”
3. Check out the System software of “Sony Imaging Products & Solutions” and press “OK” .



なお、インストール中に以下のようなダイアログが表示された場合は “Open Security Preferences” を選択すれば、「セキュリティとプライバシー」画面が開きます。以下は macOS Big Sur の場合の例です。



ご注意：

インストール時に許可しなかった場合、OS 再起動後には元に戻ってしまいます。

その場合は、再度、インストーラーを実行して、システムソフトウェアの許可を設定してください。

#### 【言語対応について】

本ユーティリティは、システムの言語環境にあわせて、言語(EN/JP)の切り替えを自動的に行いません。

#### 【制限事項】

メディアの取り出し操作について

- ・ 通常時に AXS-CR1 からメディアを直接取り出した場合、デスクトップにメディアアイコンが残ったままとなります。
- ・ アイコンが残った場合でも、アイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップすることでアイコンを消すことができます。

Mac との USB3.0 接続について

- ・ Mac 標準搭載の USB3.0 ポートに AXS-CR1 を接続してご使用ください。
- ・ 他社製の USB3.0 カードは AXS-CR1 を正しく認識しなかったり、データ転送が正しく行われなかったりする場合があります。特に、クリップファイルの転送を行なった際は、必ず、RAW Viewer などのアプリケーションで確認するようにしてください。

Win との Thunderbolt3 接続について

- ・ Windows PC 標準搭載の Thunderbolt3 ポートに AXS-AR3 を接続してご使用ください。  
他社製の Thunderbolt3 カードは AXS-AR3 を正しく認識しなかったり、データ転送が正しく行われなかったりする場合があります。特に、クリップファイルの転送を行なった際は、必ず、RAW Viewer などのアプリケーションで確認するようにしてください。
- ・ Windows で省電力モードに設定した場合、標準の BIOS 設定では正しく動作しない場合があります。  
Windows がスリープすると、外部デバイス AXS-AR3 と Windows の間で、状態不整合が生じるため、最悪ブルースクリーンになることがあります。どうしても、省電力モードで使いたい場合は、以下の注意事項の 2. マシン環境の設定 をお試しく下さい。

#### 【注意事項】

##### 1. 操作上の注意

OS がメディアをマウントする前に本ソフトウェアで操作を行なうと、コンピューターが不安定になる場合があります。

- ・ 必ずメディアアイコンがデスクトップに表示されてから、本ソフトウェアでの操作を行なってください。
- ・ OS 標準のファイルシステムドライバでマウントしてしまうとアクセスが遅くなるため、OS が起動してから、メディアをマウントしてください。

AXS メモリーカードのフルフォーマット、および、AXS メモリーカードのファームウェアアップデート操作について

- ・ Finder や Explore などでメディアを開いたり、アクセスしている場合は実行できません。
- ・ フルフォーマットすると、完了時にメディアが自動的にコンピューターからアンマウントされます。完了後、同じ

メディアを継続して操作する場合は、再度メディアをドライブに挿入して下さい。

- ・ファームウェアアップデートすると、以下の場合を除いて、メディアは自動的にアンマウントされます。

Windows で AXS-AR3 をお使いの場合

アンマウントした後、自動的に再マウントされるので、OS 上のドライブから、AXS メモリーカードを取り出す。

Mac で AXS-CR1 をお使いの場合

自動的にアンマウントされませんので、AXS メモリーカードのアイコンを「ゴミ箱」に、ドラッグ&ドロップしてください。

- ・メモリーカードのファームウェアアップデート中に、万一ケーブルを抜いてしまった場合、メディアが壊れるか、コンピューターが不安定になる可能性があります。もしそうなった場合は、少し待ってから AXS メモリを再挿入するか、コンピューターを再起動して下さい。メディアが壊れていなければ、正常状態に復帰します。

#### AXS-AR3 ドライブ本体のファームウェアアップデート操作について

- ・ファームアップデート終了後に表示される、ダイアログ表示に従ってください。
- ・Thunderbolt3 ケーブルを切断しても、再起動しない場合がありますので、必ず、ドライブ本体の電源アダプターを一度切断し、再度電源アダプターを接続してください。

#### クリップリカバリー機能について

- ・AXS-R7 のファームウェア Version 6.00 で作成されたファイルで動作確認をしています。
- ・AXS-R5 については、ファームウェア Version 2.00 以降で作成されたファイルをサポートしています。  
Version 2.00 以前の AXS-R5 ファームウェアで作成されたファイルは、AXS-R5 のリストア機能で修復して下さい。
- ・この機能は AXS メモリーカード 自体を修復するものではありません。  
AXS メモリーカード 自体を修復する場合は、AXS-R5 もしくは AXS-R7 のリストア機能を試してください。ただし、完全に修復を保証するものではありません。
- ・この機能はデータを転送しながらリカバリーを行なうため、ファイルサイズに応じて処理時間がかかります。
- ・AXS メモリーカード内にある要修復ファイルをリカバリーしている間は不用意に AXS メモリーカードにアクセスするのは控えて下さい。
- ・リカバリーしたクリップは必ず、RAW Viewer などのアプリケーションで問題ないことを確認してください。

<補足>

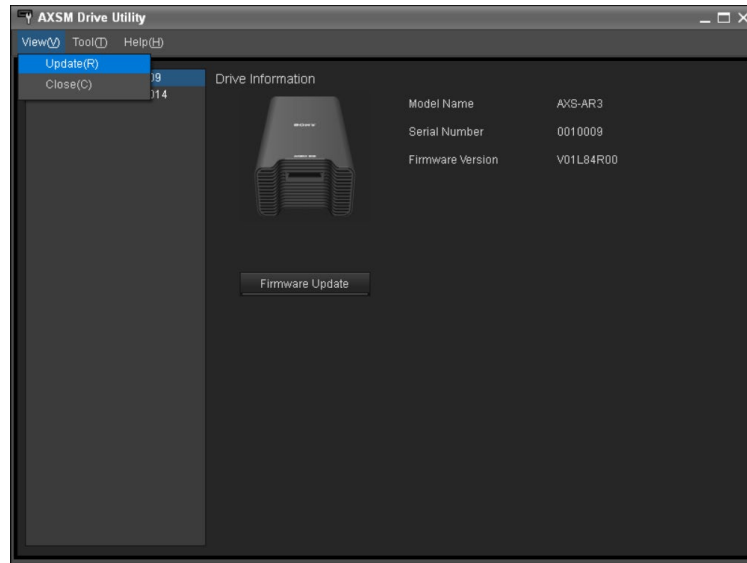
Catalyst Browse では、Recovery フォルダの修復済クリップを認識できない場合があります。その場合は、Finder から直接、そのクリップをアプリの画面上に Drag&Drop するか、Desktop などの別のフォルダに移動すれば、修復結果を確認することが出来ます。

## 2. マシン環境の設定

ドライブの正常動作の妨げになる可能性がありますので、電力モードはハイパフォーマンスをお勧めします。常駐型のアンチウイルスソフト、バックアップツール、自己暗号化ドライブ管理サービス（ドライブ用セキュリティ管理ソフトウェア）などのストレージ管理ソフトについても、一時的に無効にする事をお勧めします。

どうしても、Windows10 の省電力モードで AXS-AR3 をお使いになりたい場合は、以下の 1)か 2)をお試しください。

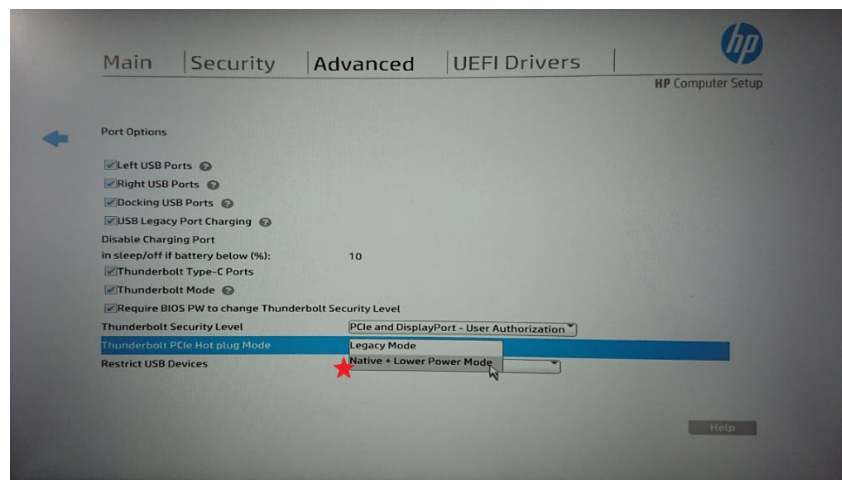
- 1) メディアを抜く際は、必ず Utility の表示[VIEW]メニューにある、更新[Update]ボタンを押してから抜く  
補足)Windows 版 Utility の更新[update]機能には、OS にドライブの状態変化を知らせる機能が備わっています。



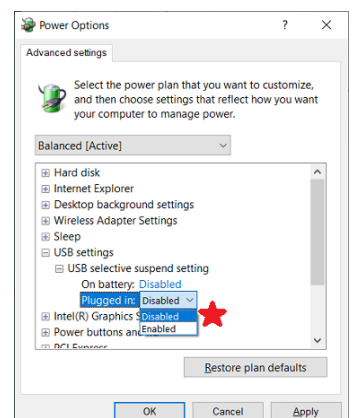
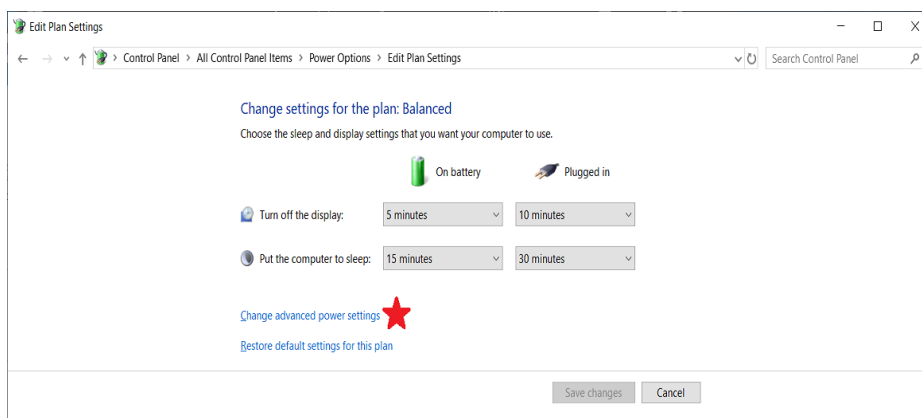
- 2) Windows PC の Thunderbolt デバイスの省電力モードに関する設定を行なう

PC の適切な BIOS 設定については、各 PC メーカーにお問い合わせください。下記は、HP 社製 EliteBook の例になります。

- a) UEFI BIOS 内の Advanced > Port Options > Thunderbolt PCIe Hot plug Mode を “Native + Lower Power mode” に設定し、Main 内の Save and Exit で確定させる



- b) Windows OS の Control Panel で Power Options の Advanced Setting を開き、USB Selective Suspend 設定内の Plugged in を Disable に設定する



3. AXS メモリーカードの初期化について

OS 標準のフォーマット機能で初期化しないで下さい。

必ず、AXS-R5 もしくは AXS-R7 で Format するか、本ソフトウェア でフルフォーマット<Full Format>を行なって下さい。

4. AXS-CR1/AXS-AR1 について

本機は、ケーブルを通じて給電することはできません。電源アダプターを接続して使用して下さい。

詳しくは、AXS-CR1/AXS-AR1/AXS-AR3 の取説を参照ください。

5. SxS メモリーカードを使うには

AXS-AR1 にて、上記 SxS メモリーカードに関する機能を使用する場合、SxS UDF Driver をインストールする必要があります。

弊社のサイトよりダウンロードし、インストールしてください。

6. SxSPROX メモリーカード用ドライブファームウェアについて

AXS-AR1 で SxSPROX メモリをお使いになる場合、稀に接続が安定しない場合があります。

その際は、リリースされている、最新の SxS 用ドライブファームウェアに更新することで改善できます。

SxSPROX メモリ対応済の SBAC-T40 や SBAC-US30 などが既にお手元にある場合は、そちらをお使いください。

7. ログ取得について

Utility の Help 上に、Mac の場合、ログフォルダが、Mojave 以降、「/Library/Logs/AXSM 」から「/Library/Application Support/AXSM/Logs/」に変更される旨が記載されていますが、Mojave より前の MacOS であっても、最新環境にて「/Library/Application Support/AXSM/Logs/」に変更されます。

---